

## 平成25年度 音楽教育にかかわる現状と課題

部長 小池 庸子

### 1 音楽教育の動向

【上越地区】上越市音楽部では「音楽のよさを感じ、表現を高め合う授業をめざして」を研究テーマに、上越市立大町小学校渡辺奈穂子教諭が5学年「曲想を感じながら演奏しよう」を題材に、上越市立城北中学校荻野美智江教諭が1学年「日本の伝統音楽 能の魅力」を題材に、授業公開を行った。子どもが歌詞を生かしながら自分の思いを表現するため手立てや、ゲストティーチャーを通じた本物体験による日本固有の表現力指導の方途を探った。柏崎市立榎原小学校星野美和教諭は「気持ちをメロディであらわそう」の題材で2学年の授業公開を行った。糸魚川市立青海中学校小川敦子教諭は「新学習指導要領の趣旨を生かした授業づくりと創作活動」をテーマにして1学年の授業公開を行った。妙高市立妙高高原中学校では岡田明教諭が合唱とリコーダー奏を題材にした110名による全校合唱奏の授業公開を行った。新学習指導要領の趣旨を生かした授業づくりが多様な視点から研究された。

【中越地区】「思いをもって表現する子ども」を研究主題に中越音楽研究大会が開催され、三条市立保内小学校三村陽子教諭が「せんりつづくりにちょうせん～既習曲の形式をつかって～」を題材に4学年の授業を公開した。「リズムを変える」「音を変える」の方法を学び合い、子どもが自分の音楽づくりに生かす授業であった。長岡市三島音楽部の授業研究会では、長岡市立越路中学校亀貝隆教諭が「ベートーベン交響曲第5番第1楽章」の構成について検討する3学年の授業を、長岡市立上組小学校小島明子教諭は子どもが「今様」を創作する6学年の授業をそれぞれ公開した。子どもに思いを持たせるための工夫が図られた。燕市立燕南小学校平出久美子教諭が「いいおとみつけた」を題材に1学年の授業を公開した。鑑賞や色々な楽器に触れる活動を設定することで、子どもは主題要素に気付くことができた。魚沼市立堀之内小学校吉村智宏教諭は堀之内地区に伝わる『大の坂』を題材に4学年の授業を公開した。保存会の方々から習う活動が設定され、子どもの表現につながった。

【新潟市・下越地区】新潟市音楽部では「聴いて感じて考えて音楽を楽しむ子ども」を研究主題に会員一人一授業研究が行われた。指導と評価の一体化、【共通事項】の位置づけ、言語活動の充実に重点を置いた授業研究ができた。伝統音楽の教材化が今後の課題となった。新発田市立五十公野小学校滝澤陽子教諭は「おとづくり」を題材に1学年の授業を公開した。掲示物の有効性やイメージからの音作りの工夫を深めた。村上市立小川小学校園邊香織教諭は「せんりつのとくちょうをかんじとろう」を題材に3学年の授業を公開した。録画された映像を活用する有効性が確認できた。五泉市立五泉南小学校佐藤祐子教諭は「リズムの特徴や曲の力強さを感じ取って歌う」を狙いにした授業を公開した。リズムをパターンや強弱、レガート等の対比からとらえさせる工夫が協議された。佐渡市音楽部では音楽科授業研究会で佐渡市立相川小学校石田愛海教諭が「海と物語」を題材に授業を公開した。話し合いによる旋律づくりやそれを記録す手立てのよさが確認された。

### 2 音楽科教育の課題

教師の指導力の向上に併せ、多様なゲストティーチャーやメディアの活用、抽象的な音を子どもがとらえやすくする手立ての工夫や、言語活動、学び合いの重視により、子どもが音楽に親しみ、豊かに表現する授業づくりを探る。